

2024 オイスカ友の会「愛と絆」の集い

人と地球に「愛」惜しみなく

講演会

人生 100 年時代。健康に生きる。その日まで！

湯浅景元氏

人生 100 年時代の健康戦略

～アスリートに学ぶ手軽な体づくり～

中京大学 名誉教授 湯浅景元 (ゆあさ かげもと)

中京大学体育学部卒業後、東京教育大学(現・筑波大学)大学院体育学研究科修士課程修了。東京医科大学で学び、医学博士でもある。中京大学在職中は、スケート部部长として安藤美姫、小塚崇彦、浅田真央らの教育に携わった。ハンマー一投げ金メダリスト・室伏広治は湯浅ゼミの出身者である。

2024 年

12月8日 参加無料 14:00~16:00 (13:00 開場)

末野原交流館 多目的ホール

〒470-1201 豊田市豊栄町 11-36-1 定員 250名(先着順)



大震災から13年 よみがえれ白砂青松！

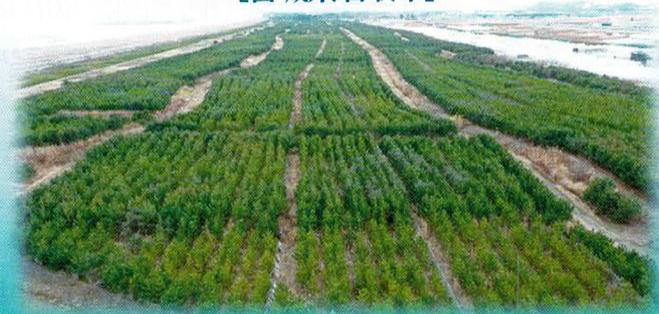
海岸林再生の現場から

浅野 奈々穂氏

(オイスカ啓発普及部 主任)

100ha 40万本 1.5万人のボランティアの結晶

[宮城県名取市]



主催 オイスカ友の会

共催 末野原地区高齢者クラブ連合会
後援 オイスカ豊田推進協議会、豊田市末野原交流館
協力 鶴鳴自治区、オイスカ中部日本研修センター

問合せ オイスカ友の会 ☎090-8670-9380(佐藤)、豊田市末野原交流館 ☎0565(26)6200

浅野奈々穂 Profile

第1部



2011 オイスカ入職、愛知県支部勤務。
2012 西日本研修センター一年研修課勤務。
2014 年3月に退職。アフリカでボランティア活動を行う。
2015 年9月に帰国後、オイスカに復職。啓発普及部
海岸林再生プロジェクト担当、海外事業部を経る。
2024 年4月から啓発普及部 GSM 担当主任となる。

〈海岸林再生プロジェクト 13 年の実績〉

2011.3.11	東日本大震災 発生	2014.2.13	宮城県・名取市との協定締結
2011.3.17	林野庁長官に海岸林再生の協力申出	2014.5.24	第 1 回植樹祭開催
2011.10.30	ボーイング 787 型機就航記念「海岸林視察ツアー」を開催(協力:ANA)	2015.3.14	「グッドライフアワード」優秀賞
2012.2.29	被災された農家の方々による「名取市海岸林再生の会」設立	2017.7.24	インフラメンテナンス大賞「農林水産大臣賞」
2012.3.30	初めての種まき(約 100,000 粒)	2017.9.6	名取市海岸林再生の会の苗木「林野庁長官賞」
2012.4.28	発芽確認	2018.7.5	復興庁から感謝状拝受
2013.4.19	初めてのボランティア受入れ	2019.6	ボランティア 1 万人突破
2014.2.13	宮城県・名取市との協定締結	2020.10	最後の植栽完了(クロマツ 37 万本)
2012.3.30	初めての種まき(約 100,000 粒)	2020.12.9	「松がなくなぐあした」小林省太著 発売
2012.4.28	発芽確認	2021.7	海岸林再生の碑 建立
2013.4.19	初めてのボランティア受入れ	2022.1	本数調整伐着手 (2024.3 末時点 全体の 65%の初回間伐が完了)
		2024.10	ボランティア1.5万人突破

第2部

湯浅景元 Profile 中京大学 名誉教授/日本体育学会 名誉会員

中京大学体育学部卒業、東京教育大学大学院体育学研究科修了後、東京医科大学で学ぶ。医学博士、体育学修士。東京医科大学客員講師、オーストラリア・グリフィス大学高等研究員、日本オリンピック委員会強化スタッフ(コーチングスタッフ)、中京大学体育学部長、学校法人梅村学園評議員、愛知県教育スポーツ振興事業団評議員、名古屋市教育スポーツ振興事業団評議員、豊田市スポーツ振興審議会委員、石川県いしかわ健康フロンティア戦略推進会議委員などを歴任。現在、岡崎げんき館整備運営事業推進専門委員などを兼任。NHK総合「NHKスペシャル」、NHKEテレ「きょうの健康」「すこやか長寿」など、テレビ出演や講演会などを通して健康づくりのための運動の大切さの普及に努めている。

■主な著書・連載

『自立できる体』をつくる—人生100年時代のエクササイズ入門』(平凡社)

『ラジオ体操でからだ若返る』(中経出版)

『老いない体をつくる』(平凡社)

他多数

オイスカ友の会

人づくり(教育)や環境問題(植林等)、また途上国への開発支援を通して、平和と協調社会を目指す国際 NGO のオイスカ(本部 東京)は、65年の歴史を持ちます。そんな中、このオイスカ運動を当地末野原地区の会員を中心として支援する草の根の小集団(現在会員58名)です。発足当時は



海外研修生への激励と交流が中心でしたが、そこに子どもたちが加わり(バーベキュー会)、また学校訪問等を通して一層国際理解と交流の輪が広がってまいりました。そして、近年はコロナ禍の影響もあり「愛と絆の集い」と銘打って、各種講演会や国内外のオイスカ活動の紹介、また中部日本研修センター(勘八町)での海外研修生との農作業実習体験等が行われています。また、東日本大震災による海岸林再生事業(宮城県名取海岸)にも多くの会員が参加しています。